

## 5 本時の学習

### (1) 本時の目標

天皇や貴族中心の政権から、武士中心の政権に変わった理由を理解し、自分の言葉で説明することができる。

### (2) 本時の展開

過程	時間	主な学習活動	学習形態	教師の指導 (予想される生徒の反応)	教材 資料等
導入	5分	1 これまでの授業を振り返る。 ○略年表で確認 ○人物写真等で確認	一斉	○それぞれの人物と関係の深いキーワードを確認する。 ・道長…摂関政治/貴族 ・清盛…保元・平治の乱/太政大臣 ・頼朝…征夷大將軍/御恩と奉公 ・後鳥羽上皇…院政/承久の乱 ・政子…執権政治/承久の乱/演説 ・惟次…開墾/武士団/下文/北条氏	年表 組織図 下文 関係図 地図
展開	15分	2 本時の課題を確認する。			
		3 これまでの学習内容をもとにした、記者会見を行う。 「その時時代が動いた!! 緊急記者会見」 (出席者) 藤原道長 平清盛 源頼朝 後鳥羽上皇 北条政子 阿蘇惟次	一斉	○それぞれの人物について、事前に学習した内容をもとに原稿をつくらせておく。 ○インタビューの質問にそれぞれ本人になったつもりで答えるように指示する。 ○発表者以外の生徒は、記者になったつもりでメモをとるよう指示する。 ・道長…貴族が天皇に代わって政治の実権を握りました。 ・清盛…朝廷内での武士の立場や発言力を強くしました。 ・後鳥羽上皇…朝廷の西国での支配力まで弱まりました。 ・頼朝…朝廷の力から御家人たち(の土地)を守るための組織です。 ・政子…頼朝の恩を思い出し、武士の結束を強めました。 ・惟次…幕府の力の広がりがあったり、南阿蘇地方をより有利に支配できるようになったことです。	ワークシート 人物写真 人物名札

10分	4	学習課題について考える。 (1) 「結果的に貴族から武士へ実権が移ったことについてどう感じていますか？」の問いに、前時までに自分が選んでいた人物の立場での意見を考え、発表する。	個 班 ↓ 全体	○それぞれの人物の立場で意見交換を行う。 ・武士たちの言うことを聞くのは嫌だ。 ・自分たちの土地を守っていくことができやすいからよかった。 ・やっと武士が活躍できる時代が来てうれしい。	
15分		(2) 「なぜ、貴族から武士へ政治の実権が変わっていったのだろうか？」の問いに、自分の思いを書いて発表する。	個 ↓ 全体	○導入の板書や、記者会見の発言意見交換を参考に、自分なりの考えをまとめる。 ○これまでのワークシートでの学習のまとめを参考に文章を考えるように指示する。 ○活動が進まない生徒には、ヒントカード(キーワード集等)を渡す。 ・朝廷内の権力争いに利用されていた武士たちが、力をつけてきたから。 ・朝廷内では、自分たちや一族の繁栄を考えた政治を行っていたから。 ・自分の土地を守り、受け継いで行く上では、武士の政治の方が都合がよかったから。	評価① 過去の ワークシート ワークシート ヒント カード
まとめ	5分	5 教師による単元のまとめを聞く。	一 斉	○武士のおこりと当時の人々の思いについて確認する。 ・このあと、天皇や貴族たちはどうなったのだろうか？	

(3) 本時の評価

場面	評価基準
評価①	A：天皇や貴族中心の政権から、武士中心の政権に変わった理由を、権力争いや土地支配の流れの両方の視点から説明することができる。(ワークシート) B：天皇や貴族中心の政権から、武士中心の政権に変わった理由を説明することができる。(ワークシート)